

群馬PRで歌舞伎座とコラボ

ぐんまちゃん家

ぐんまちゃん 歌舞伎仕様に

2010年4月から建て替えのため休場していた歌舞伎座（東京・銀座）が4月2日、新開場する。「アピールの絶好のチャンス」と盛り上がっているのが向かいにあるぐんま総合情報センター（ぐんまちゃん家）だ。歌舞伎座とのコラボレーションによるPR活動を展開、群馬の魅力の情報発信に努める。



新しくなった歌舞伎座

歌舞伎座のこけら落とし公演初日となる2日から7日までと5月3～5日の期間、歌舞伎座オーブン記念イベントを実施する。2日には、歌舞伎の口上でお馴染みの袴を身に着けた「袴ぐんまちゃん」も登場。期間中、店内では野菜など県産農

産物や峠の釜めしを販売するほか、歌舞伎座の当日券を持参した人には粗品サービスの特典も。また、歌舞伎座の協力を得て「忠臣蔵」「娘道成寺」「連獅子」の3演目の登場人物をデザインした「歌舞伎ぐんまちゃん」を制作。イベント期間中は歌舞伎ぐんまちゃんをあしらったハンドタオルやボールペン、携帯ストラップなどを買い物客に配る。

県内でも「ぐんまちゃん×歌舞伎 ふれあいイベント」と題し、歌舞伎関連の行事を行う。こけら落としに先立つ30日からはスクリーンで歌舞伎を見る「シネマ歌舞伎」の上映をMOVIE X伊勢崎（伊勢崎市）で開始。同日は前橋市でもPRイベントを行い、袴ぐんまちゃんとの記念撮影会やプレゼント抽選会などを実施する。

ぐんまちゃん家の宮崎信雄所長は「歌舞伎座の新開場を機に、群馬の魅力さをさらにアピールし、県内の宿泊客増やぐんまちゃん家の売り上げアップを図りたい」と気合を

入れていた。

来場者150万人に

ぐんまちゃん家



宮崎所長

ぐんまちゃん家の来場者が2月27日、150万人に達した。同日、セレモニーが開かれ、150万人目となった都内在住の根岸洋子さん（70）に宮崎所長から認定証やぐんまちゃんのぬいぐるみなどが贈られた。

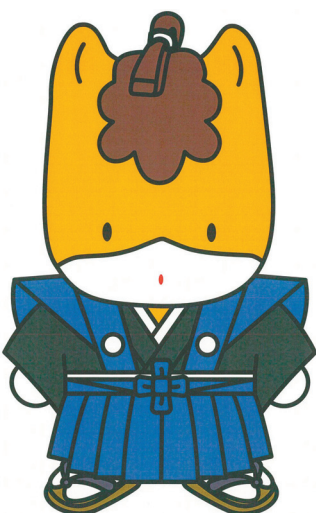
根岸さんは「群馬県産の野菜が手に入るの週

勢崎市出身。

11年11月21日に100万人を達成。約1年4カ月での150万人達成に

宮崎所長は「来場者は増加傾向にあり、もっとPRし、早い時期に200万人を達成したい」と意欲を示した。

写真上から忠臣蔵ぐんまちゃん、娘道成寺ぐんまちゃん、連獅子ぐんまちゃん、袴ぐんまちゃん



歌舞伎座の向かいにあるぐんまちゃん家